



週報

2015~2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1058 回(10 月 13 日)例会の記録

国際ロータリー-2570 地区 第 3 グループガバナー補佐訪問

点 鐘 江原伸夫会長
合 唱 四つのテスト
第 2 副 SAA 田中君 若松君
ビジター 第 3 グループ
ガバナー補佐 吉田 譲二様
(入間南 RC)

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36名	30名	82.35%	88.57%

パスト会長の時間

柴田パスト会長

今日は、日米交渉史の重要な人物だが、日本の歴史教科書に記載されていない人物、ジェームズ・ビッドルについて話しをさせていただきます。



アメリカ海軍の軍人、階級は提督である。役職はアメリカ東インド艦隊司令長官である。

弘化 3 年(1846 年)に浦賀に黒船で来航している。当時ヨーロッパ、特に英仏は古くからアジアに進出していた。地理的な位置関係から、ヨーロッパからアジアへ進出するには、中近東、中東を経てインドから中国という形をとる。

ところがアメリカがアジアに進出するためには、そんなルートは遠回りだし、既に英仏の地盤だから使えない。つまりヨーロッパ勢力とはまったく逆に、太平洋を横断してアジアに進出することになる。当然それは海を渡るのだから海軍が主役に

なる。

黒船とは当時の最新鋭戦艦のことである。蒸気機関という強大なエンジンをもち、重い大砲も多くの兵員も積める黒船は、多くの点で当時の帆船よりはるかに優れている。だがたった一つ、帆船に劣るところがあった。それは風力という自然エネルギーで動く帆船に対し、黒船は石炭という燃料を大量に必要としているということだ。つまり石炭を時々補給してくれる基地(寄港地)が必要なのだ。アメリカから見て補給基地として最も適したところといえば、「太平洋の向う岸」つまり日本に他ならない。

アメリカは当時から民主国家であり、イギリスのように何事も武力で解決しようとは思っていなかった。イギリス人ほど東洋人を蔑視してもいなかった。本当に蔑視していたら、ジョン万次郎もジョセフ・ヒコモ学校へ通うどころか奴隷にされていただろう。まだリンカーンの解放前である。アメリカは日本と友好関係を結び、基地を提供されることを望んだ。とりあえず民間から国交のない日本に通商を求めべく、非公式に派遣された民間商船モリソン号で天保 8 年(1837 年)、浦賀に日本の漂流民数名を届けようとした。国交のない国とはいえ漂流民を送り届ければ、人道的に対応し感謝するだろう。これが国交開始のきっかけになると船主のチャールズ・キングは考えた。ところが人道的アプローチに対し大砲で追い返した。

当時この様な対応をした幕府に対し、渡辺崋山

や高野長英等が批判をした（「慎機論」「戊戌夢物語」等）。しかし幕府は彼らに対し厳しく処罰した（蛭社の獄）。

アメリカ議会の決議に基づき、大統領の親書を携えた正式な外交使節が派遣されることになった。前回の経験を受けて、アメリカ海軍東インド艦隊司令官が正使として派遣された。その名がジェームズ・ビッドル提督であった。弘化3年(1846年)、ペリーに先立つこと7年前のことであった。なぜこの時は大騒ぎにならなかったのか。あくまで友好を求めた立場から、ビッドルは紳士的に振舞ったからだ。威嚇砲撃もせず、湾内に深く入ることをしなかった。ところが日本側はビッドルが下手に出たのをいいことに、国書の受け取りすら拒絶して追い返した。ビッドルも戦えば勝つのはわかっていたが、取り敢えず友好が目的だから引き下がった。そしてついにアメリカが怒った。

《ジョン万次郎》

土佐中浜出身の漁師万次郎は、乗っていた漁船が嵐に遭って漂流しているところをアメリカ船の船長に救われた。14歳の時であった。ホイットフィールド船長の勧めもあってハワイからアメリカ本土に渡り、東海岸のフェアヘイブンで「ジョン・マン」の名で教育を受けた。そして働いて金を貯め、ハワイからアメリカ船で琉球沖まで行き、購入した小舟で琉球に上陸した。薩摩藩はこれを鹿児島まで護送し、長崎で幕府に引き渡した。幕府は取り調べ後、嘉永5年(1852年)土佐藩に引き渡した。当時その太平洋を我が物顔に航海していたのがアメリカの捕鯨船であった。当時アメリカは世界一の捕鯨国であった。メルヴィルの「白鯨(モビー・ディック)」はこの時代のアメリカ捕鯨を描いた作品である。

ジョン万次郎を救助したホイットフィールドも捕鯨船の船長であった。つまり国交開始以前、アメリカと日本のパイプ役をкаろうじてつとめていたのが「日本人漂流民」なのである。

一人例を挙げれば「ジョセフ・ヒコ」がいる。嘉永3年(1856年)、漂流してアメリカ船に救助された「浜田彦蔵」はアメリカ市民権を獲得し、ジョセフ・ヒコと改名、日本に帰国後は新聞・貿易事業に従事し、日米交流に貢献した。

また万次郎も小笠原諸島を日本の領土として周知せしめる等の功績をあげ、明治以後も主に教育関係に従事した。

幹事報告

小島幹事

1. 地区大会記念チャリティーゴルフ・コンペ開催要項と組合せ表について。
2. 第3グループ職業奉仕研修会開催のご連絡について
3. 受贈会報 入間南 RC 所沢 RC

委員会報告

R 情報・雑誌委員会

清水委員

表紙は日光の「五重塔」と熊本城の「流鏑馬」の写真です。内容は真ん中に書いてありますので、読んで頂きたいと思います。私も昼間の日光の五重塔は何度も見たことがあるのですが、夜景は初めて見ました。非常にきれいに撮れておりますので、ご覧になって頂ければと思います。

【横書】

いつもながら例会のことが書かれておりますが、今回は p.24 から 10 ページに渡って、来年5月末から6月初めにかけてソウルで行われる、国際ロータリーの年次大会について大きく載っております。韓国が好きな方も嫌いな方も是非読んで頂ければと思います。

【縦書】

卓話の泉の中に「お札のよもやま話」というものがあります。聖徳太子がお札の代名詞のように言われているということ、そういえば昔、3枚ともそんな時期があったかなとやっと思ひ出しました。

p.9に「わがまち...そしてロータリー」とあります。ロータリークラブの地名とは普通、狭山中央や例えば狭山西とか東というものが多いのですが米沢上杉ロータリークラブという、上杉という字が入っているクラブがあります。日本ではあまり聞いたことがなかったのですが、米沢上杉ロータリークラブという非常に変わった名前のロータリー

クラブがあるという事が紹介されておりました。

私、最初の頃はこの雑誌も良く読んでいたのですが、このところどうも怠けてしましまして、今回発表するという事で、久しぶりに隔々まで読みました。そんな方がいらっしゃいましたら、これを機会に、私も熟読しようと心に決めましたので、皆様も宜しくお願い致します。

「外来卓話」・・・・・・・・

《ガバナー補佐訪問》

国際ロータリー第2570地区

第3グループガバナー補佐

吉田讓二様 (入間南 RC)



皆さん こんにちは

本年度ガバナー補佐を務めさせていただきます、入間南 RC 所属の吉田讓二です。

創立して23年を迎えた歴史と伝統ある狭山中央ロータリークラブさんの例会に始めて訪問させていただきました。

最初に個人的な事ですが、お礼をさせていただきます。大変ご心配をおかけし色々とお世話になり助けて頂いた沼崎様、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

狭山中央ロータリークラブさんの年度計画書を拝見させていただくと、毎年のように地区及び RI の表彰を受賞されており、地区の役員も何人も選出されていて素晴らしい会員卓話が連続して行なわれている活気あるクラブで、ロータリー歴の長い諸先輩の方々の前ですが、方針から述べさせていただきます。

K. R. “ラビ” ラビンドラン RI 会長は、RI のテーマとして「世界へのプレゼントになろう」を掲げられました。

第 2570 地区高柳育行ガバナー氏は、「ロータリーの心を実践しよう」を地区テーマとしておられます。高柳ガバナーの意とするところを各クラブへお伝えし、各クラブからの現況、要望を高柳ガバナーにお伝えします。また RI、地区の各部門の方針などをクラブへ伝達し、地区との情報伝達がスムーズな環境をサポートすることで各クラブが効果的で円滑な活動が実施され、クラブ間の親睦の増進、一人一人のロータリアンが RI テーマ、地区テーマを実践できてロータリーの理解が深まり、クラブの活性化に繋がるお役にたてます様に願っております。一人一人のロータリアンと各クラブにとって高柳年度が素晴らしく飛躍する年度になりますように皆様のご協力をお願い申し上げます。

本日私は狭山中央 RC を訪問させて頂き、例会の前に、会長、幹事さんを相手にして各種書類の点検をさせて頂きました。帳簿類は事務局さんのきちんとしたお仕事により、整備されており楽に点検できました。内容は正確で素晴らしいものでした。

江原会長は、「友情と相互信頼の絆」をクラブテーマとして、会員純増 5 名を目指し公共イメージアップに務めると述べられています。

RI 会長のテーマにも通ずる、ロータリアンとしてプライドをもって楽しく活動できるクラブテーマを実践して、会員純増 5 名と公共イメージアップを是非とも実現させて頂けたらと思います。

ロータリーは、2013~2014 年度より世界のロータリークラブは、RI ウェブサイト上で目標などを入力する新しいシステムを導入した、「未来の夢計画」が一斉にスタートしています。120 万人のロータリアンは、34,000 のクラブに所属し、クラブをネットワークしたものが 19 名の理事、事務総長で構成されている RI です。約 530 の地区は、同じ地域内にあるクラブで構成され RI 役員がガバナーによって運営されています。さらに地区は 34 のゾーンに分かれています。

クラブは、3 年ごとに規定審議会によって見直し改定されている RI 定款、RI 細則、クラブ定款を共

通の規則とし国境をこえて平等に自由に運営されています。例外は、グレートブリテン及びアイルランドだけです。

クラブ細則に関しては、共通の定款、細則に矛盾していなければクラブのニーズによって、クラブ会員3分の2の賛成により改正できます。

次年度は、3年ごとに変更されている2016年手続要覧に変わりますのでクラブ定款は、共通なので自動的に変更されるだけです。

クラブ細則は、RI定款の変更項目に矛盾していないかなどの見直しは必要です。既に2013年手続要覧補佐マニュアルに、今後は、「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」の代わりにオンラインの「ロータリークラブ・セントラル」が利用されるようになる事を各クラブへ伝えるように明記されています。

注意事項ですが、2013年よりRIへの報告は、ネットでロータリークラブ・セントラルへの報告に完全移行されています。

以前の様にクラブの事務局さんが、2570地区へ報告していればOKではなく、2013年からRIへの報告は、ネットで直接アップロードするように移行されていて、セントラルへのアップロードは、会長、幹事、会長エレクト、事務局、などに制限されています。アクセス出来る項目など、地区、クラブの役職により制限が異なり厳格に管理されています。アクセス権の関係上ロータリークラブ・セントラルへ次年度役員の情報、必ず2月1日までに報告して下さい。

地区への報告事項でクラブの目標、会員増強目標を、会長エレクトは、ロータリークラブ・セントラルへアップロードして下さい。全クラブは、RI及び地区へ会員の情報などを期日内に報告する義務があり、報告は、ロータリークラブの最低基準のひとつです。地区も、ロータリークラブ・セントラルからクラブの状況を確認していますが、クラブが地区への報告した情報とRI本部へ報告した情報が一致しない事があるとの事です。原因は、クラブからの報告内容が地区とRIと同一でないか、どちらかへの報告がされていないかです。

クラブによっては、7月の時点では会長、幹事など役員変更をRIに報告をされていないクラブもあ

ったそうです。前年度が次年度役員をRIに報告していない場合、会長エレクトが目標などの報告義務項目をRIに報告しようにも、アクセス制限されて報告できず、クラブの最低基準を満たす事ができません。さらに、会長など役員には、役職別内容でRIより翻訳されたメールが送信される場合やRI会長から送信されるメールもあります。

RIからの連絡事項がすべて地区経由でクラブの事務局に入るとは限りません。次年度役員の情報がない場合、RI本部から日本事務局へ指示が入り、地区事務局経由でクラブに指示があるとの事でした。

補佐の役目なのでロータリークラブ・セントラルでクラブの状況を確認させていただいたところ狭山中央さんは、目標など正確に入力されていました事を報告致します。ロータリアンの皆さんは、是非ともMy Rotaryに登録して下さい。

高柳育行ガバナーは、My Rotaryに各クラブのメンバー50%の登録を希望しております。登録者は、RI会長方針で7月より開始された「ロータリーグローバルリワード」プログラムにより、世界中のビジネスやサービス業者とつながり、簡単な例でいえばホテルなど各施設などでの割引や特典を受けることができます。詳しくは「ロータリーの友」9月号のRI会長メッセージをご覧ください。

ロータリーに関しての情報は、RIから役職別に直接入るメール以外はMy Rotaryから入手できます。既に2016-2019年度版役職別マニュアル等も入手できますので、少なくとも理事、役員、さらに次年度はMy Rotaryのアカウントを設定し、まずはログインして下さい。2570地区ホームページの地区Facebookも画像、動画もある充実した内容で毎日のように更新されていますのでご覧ください。

IMですが来年の2月27日土曜日の開催になります。詳細については、未定ですが実行委員会を立ち上げるむねを発表しました。

場所については、入間市産業文化センターを確保しました。内容についても、案はありますので近々交渉を始める予定です。

公式訪問に関しては、昨年同様にRLI方式を高柳ガバナーは希望しておりますが合同例会など場合によっては従来の方式でも良いとの事ですので宜

しくお願ひします。

地区大会に関してですが、会場は本庄カインズホームの本社です。映像と音響の設備が素晴らしいとの事です。

先日、補佐会合の席で高柳ガバナーは会場を生かして映像と音響効果の演出で感動する事をやりたいので何か良い案があれば提案して欲しいと希望されました。

入会したての頃、私にとって色々な面で凄く良かったと感じている事ですが炉辺会合のおかげでロータリーにとけ込む事が速くできました。炉辺会合については頻繁に行なわれているのでしょかロータリーは、炉辺で親睦が深まりそれがロータリーの活性化に繋がるから炉辺が大事だと、ある先輩がよくおっしゃっています。基本的に炉辺は誰もが楽しいと感じて過ごす時間を共有する事なので、そこで友情、思いやりが芽生え、退会防止、会員増強にも炉辺は重要な役目を果たすと思います。特に新しい会員は、炉辺次第で例会の出席、ロータリーが続くかどうかに関係してくると思います。前任補佐の沼崎さんは、ロータリーは楽しくなければとおっしゃっておられました。誰しも楽しくなければ、どんな事でも続けていくのはつらい事ですよね。

新しい会員に関して、皆さん基本的に優秀な人たちなので早い頃からクラブの役をやらしてもらえばクラブの活性化にもなるし、ロータリーが楽しくなれば誰かを誘ってくれて会員増強にも繋がり、楽しければ退会防止になります。

来年まで補佐訪問として何度かクラブを訪問させて頂きますのでよろしくお願い致します。ありがとうございました。



江原君 吉田ガバナー補佐、本日はお出で頂きましてありがとうございました。卓話をよろしくお願ひ致します。柴田パスト会長、本日の会長の時間をよろしくお願ひ致します。

小島君 第3グループガバナー補佐吉田譲二様、ようこそおいで頂きました。ご指導よろしくお願ひ致します。

浜野君 第3グループガバナー補佐吉田譲二様ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみにしております。柴田パスト会長、会長の時間よろしくお願ひ致します。

稲見君 吉田ガバナー補佐ようこそおいで下さいました。ご指導よろしくお願ひ致します。

益子君 吉田ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願ひします。

沼崎君 吉田ガバナー補佐、本日は補佐訪問ありがとうございました。この一年間のご活躍期待しております。

佐藤君 第3グループガバナー補佐吉田譲二様、ようこそお越し下さいました。本日はよろしくお願ひ致します。

第 1060 回(10 月 27 日)例会の記録

例会臨時変更 地域交流フリーマーケット 於：尚寿会 花とせせらぎ公園駐車場
10 月 17 日(土)

雨天中止

当日販売予定の御赤飯・炊き込みご飯につきましては、無駄にすることなく会員皆様にご協力を頂きまして大変ありがとうございました。

尚、皆様からご提供頂きました品々につきましては、次年度に持ち越す事と致しました。ご協力誠にありがとうございました。

社会奉仕委員長 小室 昭男

※ 次の例会

第二副 SAA 東君 古谷君

11 月 3 日 (火) 例会取り止め (定款 6-1-C))

11 月 10 日 (火) 12:30~13:30
外来卓話 ガバナーエレクト 井埜利博様 (熊谷 RC)